

令和元年度事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

◇海王丸パーク◇ (面積:約9.6ha)



◇富山新港臨海野鳥園◇(面積:約4.6ha)



◇富山県新湊マリーナ・新湊マリーナ緑地◇(面積:約16.5ha)



令和元年度は、4月に海王丸総帆展帆通算250回を迎え、5月には緑のパーゴラ中央休憩所のリニューアルが竣功し、併せて富山湾を紹介するタッチパネルが設置されるとともに、日台観光サミットの視察が行われた。9月には展望広場にスロープが整備され、10月には世界で最も美しい湾クラブ総会のイベントが開催され、記念植樹や漁船パレードなどが行われた。

また、「恋人の聖地」として、婚活イベント「海王丸恋人フェスティバル」を4回開催し、10組のカップルが誕生したほか、海王丸船上での「幸せのベル結婚式」が4組行われた。

春に10連休があったことや、暖冬で冬季の来園者が多かったこともあり、海王丸パークへの年間入込者数は、過去最多の約120万人となり、海王丸乗船者数も過去5年間で2番目に多い約6万9千人となった。

当財団としては、今後とも、富山県、射水市及び関係団体と連携して、歴史的・文化的価値が高い海王丸と、雄大な景観を誇る海王丸パークや日本海側有数の規模を誇る新湊マリーナの情報を全国に発信し、より多くの方々に来場していただけるよう努めていきたい。

I 海王丸パークの管理運営

1 パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等

(1) 植物管理

- ・芝管理（約1.6ha）
- ・樹木管理（プランター植栽、剪定、害虫駆除、雪囲い等）

(2) 施設管理

- ・清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）
- ・自家用電気工作物保安管理、遊具点検
- ・「展望広場」の供用（注意報発令時は閉鎖。ホームページで情報提供）



2 日本海交流センターの管理運営

(1) 展示ホールでのパネル展示等

- ① 世界の帆船模型展
- ② 「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟
- ③ きららか射水の紹介
- ④ 環日本海地域へのゲートウェイ・日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港
- ⑤ わたしたちと海 など

- (2) 施設の利用促進
研修室の会議等への利用、談話室の賃貸(H31.4～海王丸クルーカフェが入居)
- (3) 館内の清掃、機械警備等

3 帆船海王丸保存事業

帆船海王丸を「海に浮かぶ生きた帆船」の姿で保存し、美観を守るため、船体の諸法定検査の受検と定期的な保守点検作業及び整備保存工事を行うとともに、乗船者の安全確保に努めた。

- (1) 法定検査等
 - ① 船舶安全法にかかる検査 第1種中間検査 令和元年7月17日
 - ② 消防設備保守点検 令和元年9月11日、令和2年3月18日
- (2) 日常の保守点検整備
 - ① 公開区域の保守整備（清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き等）
 - ② マスト・ヤード・セイル等帆装艀装設備の保守、点検、補修及びセイルの製作
 - ③ 船体各部の発錆部の補修等
- (3) 船体整備等
 - ① 船体及び展示マスト・ヤードの塗装
 - ② セイルの取付け及び取外し
 - ③ 帆装艀装整備
 - ④ 電路改装
- (4) 災害防止
 - ① 船内防災センターにおける24時間集中監視の実施
 - ② 射水市消防署との合同火災避難訓練 令和元年7月12日

4 帆船海王丸公開事業

帆船海王丸船内を一般公開するとともに、展帆ボランティアによる総帆展帆を実施し、「海の貴婦人」と称される優美な姿を披露したほか、ボランティアの養成などを図った。

また、海王丸カレンダー、PR用ミニカレンダー及びリーフレットの印刷配布、ホームページ、Facebook などによる各種イベント情報の発信を行い、帆船海王丸のPRに努めた。

(1) 一般公開

定休日、船体整備期間（11月3日、2月17日～3月13日）を除き、一般公開を実施した。

① 公開時間

区分	期 間	時 間
ア	4月1日～7月12日、9月1日～10月31日 3月14日～3月31日	9時30分～17時
イ	7月13日～8月31日	9時30分～18時
	※ 2月14日に夜間公開を実施	18時～20時
ウ	11月1日～1月31日	9時30分～16時
	2月1日～2月16日	9時30分～16時30分

② 乗船料の減免

ア 無料

- ・海王丸進水記念日 2月14日
- ・総帆展帆日の小学生、学校行事で乗船する小学生と引率者 など

イ 半額

- ・パワーバレンタインウィーク期間中のカップル

③ 乗船者数 69,050人 一般公開以来の延乗船者数 2,105,847人

年度	乗船者数
平成27年度	74,994人
平成28年度	67,830人
平成29年度	60,054人
平成30年度	60,958人
令和元年度	69,050人

(2) 総帆展帆とボランティアの育成

① 総帆展帆の実施 7回実施、ボランティア延454人参加

回	実施日	参加ボランティア数
1	4月21日	64人
2	5月5日	70人
3	5月26日	52人
4	7月15日	74人
5	7月28日	64人
6	8月25日	67人
7	10月27日	63人



H31.4.21 通算250回目の総帆展帆

※6月16日、9月23日、10月19日は、中止

② ボランティアの育成

ア 育成ボランティア数、登録者数（令和2年3月末現在）

区 分	人 数		
	新 規	男 6人	女 4人
登録者数	男 471人	女 264人	計 735人

イ 「ボランティアの集い」を開催 11月30日

ウ ボランティア表彰式 7月15日

区 分		人 数
海王ゴールド賞	展帆 200回以上または 甲板ボランティア 1000時間以上	4人
海王シルバー賞	展帆 150回以上または 甲板ボランティア 750時間以上	3人
海王賞	展帆 100回以上または 甲板ボランティア 500時間以上	1人
紺青賞	展帆 50回以上または 甲板ボランティア 250時間以上	5人

(3) カッター・セイリング教室の開催

5月3日 参加者数 47人（子供27人、大人20人）

(4) 帆船海王丸の縦帆ミニ展帆、満船飾

縦帆ミニ展帆：年10回、国民の祝日及び主要イベント開催日に縦帆4枚を展帆。

4月12日、4月29日、5月4日、6月2日、7月14日、

8月11日、8月18日、9月16日、10月14日、10月20日

満船飾：年7回、記念日に国際信号旗を掲揚。

5月1日、5月5日、7月15日、9月22日、10月22日、10月27日、2月14日

(5) ホームページ、Facebook等

帆船海王丸に関する情報、海王丸パークで開催される各種イベント情報等を掲載

平成30年12月から、海王丸の3DとVR（仮想現実）の映像を公開



(6) 夜間イルミネーション、ライトアップ

イルミネーション：毎日（船体整備期間を除く）、日没時から 22 時まで実施

ライトアップ：毎日、日没時から 22 時まで実施



(薄赤色にライトアップされた海王丸)

5 錬成等事業

帆船海王丸を活用し、規律正しい団体生活を通じて、児童、生徒、青少年の公德心、友愛、協調性及び責任感を体験習得させ、海と港と船に関する理解と知識を広めるため、海洋教室を開催した。

(1) 青少年錬成事業

① 海洋教室の開催

コース別	開催期間	参加団体数	参加者数	主な内容
宿泊コース	4月～10月	23団体	1,024人 (うち引率135人)	船内見学、結索実習 甲板清掃、操帆実習 マスト登り、カッター訓練
日帰りコース		4団体	170人 (うち引率46人)	同上
計			1,194人 (うち引率181人)	



(手旗信号訓練)



(カッター訓練)

(2) 「帆船海王丸絵画コンクール2019」の実施

小学生（射水市内及び県東部の小学生）を対象に絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰するとともに、日本海交流センターに展示。

コンクールを通じて、児童の海・港・船に関する理解と知識が深まるよう努めた。

- ・応募数 371作品
- ・入賞作品展示 9月14日～10月20日、日本海交流センターホールで展示
- ・表彰式 10月20日、日本海交流センター第1・2研修室



（下学年の部最優秀作品）



（上学年の部最優秀作品）

6 海事広報活動の普及・推進

(1) 14才の挑戦の受入

9月24日～30日 5日間 5人

(2) 滑川高等学校生の受入れ（海王丸を活用した海事教育）

- ・2年 12月11日 12人、引率3人
- ・3年 12月12日 14人、引率3人

(3) 企業研修の受入

(4) 立教大学ゼミ合宿受入れ

9月10日、11日 学生15人、引率1人

7 イベントの実施（主催行事）

(1) ちびっ子天国 in 海王丸パーク（5月2日～6日）

海王丸パーク内にミニ遊園地を展開、県児童クラブ連合会の協力による親子工作教室、消防車両の展示などを実施。来場者約17万人



（総帆展帆とミニ遊園地）



（親子工作教室・県児童クラブ連合会協力）

(2) 海王丸パークフェスティバル (7月13日～15日)

海の日を記念して、満船飾・登しょう礼・総帆展帆を実施。海上保安庁巡視艇「はまゆき」と巡視船「のりくら」、海上自衛隊ミサイル艇「はやぶさ」の一般公開などを実施。来場者約9.2万人



(海の日登しょう礼)



(巡視艇「はまゆき」の一般公開)

(3) 秋のファミリーフェスティバル (9月21～23日)

海王丸パーク内にミニ遊園地を展開。消防車両の展示、県児童クラブ連合会による親子工作教室などを実施。来場者約2.8万人



(ミニ遊園地)



(消防車両の展示)

(4) パワーバレンタインウィーク 2020 in 海王丸パーク (2月8日～14日)

2月14日が「進水記念日」とバレンタインデーであることを記念して開催

- ・「メッセージ入り記念乗船券」発行
- ・進水記念日は乗船料無料、期間中のカップルの乗船料半額
- ・帆船海王丸の夜間公開、非公開エリア特別見学会
- ・バレンタインディナー&ナイトクルージング
- ・ギター弾き語りコンサート
- ・「幸せのベル結婚式」(2組)

(5) 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式 (4月12日)

- ・花の迷路の設置 (4月12日～11月3日)

(6) 恋人フェスティバルの実施

「海王丸恋人フェスティバル」を6月8日、8月10日、12月21日、2月11日の4回開催し、計10組のカップルが誕生した。

なお、平成31年2月14日に誕生したカップルが令和2年2月に入籍された。

(7) 「幸せのベル結婚式」の挙行

新郎新婦が海王丸船上で誓いの言葉を述べ、タイムベルを鳴らす「幸せのベル結婚式」を4回挙行

(8) 2020年海王丸カレンダー作成

総帆展帆予定日を記載したA1判カレンダーを1,000部作成し、旅行業者等に配布

(9) 「帆船海王丸物語」の発刊

海王丸のこれまでの航跡を明らかにし、その歴史的・文化的価値を再認識することにより、これまで以上に県内外に広く帆船海王丸の魅力を発信する「帆船海王丸物語」を令和元年6月に発刊し、関係機関等への配布や一般への販売を行った。

(10) レインボーラインとの連携

令和2年3月、福井県三方五湖近くの恋人の聖地「レインボーライン山頂公園」を運営する(株)レインボーラインと連携し、ホームページを活用して相互にPRすることとした。

8 海王丸パークで開催されたイベント

(1) 日台観光サミット（5月23日）



(2) 富山新港花火大会（7月28日）



(3) 世界で最も美しい湾クラブ世界総会 in 富山（10月19日）



(4) 富山マラソン2019 (10月27日)



◎海王丸パークの年間入込数 1,201,500人

年 度	年間入込数
平成27年度	1,075,300人
平成28年度	1,023,700人
平成29年度	987,300人
平成30年度	1,178,900人
令和元年度	1,201,500人

II 臨海野鳥園 (海王バードパーク) の管理運営

1 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

休園日を除く土・日曜日、祝日は、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。

また、来園者に野鳥に関する知識を深めてもらうため、観察センター内に野鳥図鑑や関係資料を備えておくとともに、野鳥愛好家が撮影した貴重な写真などを展示。

ホームページ、Facebook 等を活用し、季節によって観察できる野鳥が異なることなどもPRした。

2 探鳥会 (4回) の開催

渡り鳥の飛来時期などに合わせて、野鳥に関する知識の豊富な講師を招いて探鳥会を年4回実施

(1) 探鳥会

回	開催期日
1	4月14日
2	11月17日
3	12月15日
4	2月16日



(2月16日の探鳥会の様子)

※3月15日の野鳥講演会及び第5回探鳥会は、参加者の健康面及び安全面を考慮し、中止

(2) 年間入込数 3,380人

(3) 野鳥観察指導員登録者数 33人

Ⅲ 新湊マリーナの管理運営

1 マリーナ施設及び同緑地の管理運営

- ・ 50 t テルハ式クレーン保守点検 (1 回/年)
- ・ 20 t 自走式クレーン保守点検 (1 回/年)
- ・ ジブクレーン保守点検 (日常点検)
- ・ 浮棧橋保守点検 (1 回/年)
- ・ 消防設備保守点検 (2 回/年)
- ・ 自家用電気工作物保安管理 (1 回/月等)
- ・ 新湊マリーナ夜間巡回警備 (繁忙期: 2 回/日、閑散期: 1 回/日)
- ・ 監視カメラ・ライブカメラによる監視
- ・ 新湊マリーナ緑地管理
- ・ 保管艇管理

2 マリーナ保管・利用状況 (令和2年3月末現在 登録数 307 艇)

(1) 登録数 (艇)

区分	陸置艇	競技用小型ヨット	棧橋係留艇	合計
3月末現在 (A)	96 艇	85 艇	126 艇	307 艇
保管可能数 (B)	157 艇	100 艇	185 艇	442 艇
収容率 (A/B)	61%	85%	68%	69%

(2) 保管艇内訳 (令和2年3月末現在の保管艇内訳)

区分	大型ヨット	競技用小型ヨット	モーターボート	合計
登録数	43 艇	85 艇	179 艇	307 艇
割合	14%	28%	58%	100%

3 第4回極東杯国際ヨットレース

中国青島、ロシアウラジオストク、日本富山を結ぶ国際ヨットレースが開催され、その開催運営に協力した。



(海上パレード)



(富山湾レース)

4 利用促進等事業

(1) 営業時間の延長（平成 29 年度から）

4 月 1 日から 9 月 30 日までの土日祝については営業時間を午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分まで延長

(2) 高圧洗浄機のレンタル（平成 21 年度から）

利用者へのサービス向上のため実施

(3) 修理ヤード利用料金の無料化（平成 22 年度から）

利用（契約）者に対するサービスとして、修理ヤードの利用料金（日額 2,100 円）を無料としている。

(4) ホームページ及び Facebook（平成 27 年度から）による情報提供

毎日の風向風速・釣果情報・イベント案内・スタッフのブログ等、情報発信に努めている。平成 28 年度からはライブカメラを設置し、ホームページで公開している。

(5) 国際 VHF 無線の基地局設置（平成 24 年度から）

利用者アンケートからの要望により国際 VHF 無線を設置した。これにより、海上にいる利用者へ気象情報や安全情報を提供している。

(6) 一般開放日（平成 26 年度から）

地域に開かれた施設とするため、毎月第 3 日曜日を一般開放日としている。

(7) その他

- ・製氷機の設置（利用者アンケートからの要望等により設置）
- ・モニターツアーの実施（7 月 27・28 日、8 月 3・4 日）



(富山新聞記事)

・フィッシングバザーの実施



5 マリーナ職員による安全対策

- (1) 構内見回り点検 (1回以上/日)
- (2) 上下架装置の安全点検 (1回/日)
- (3) 荒天時警戒 (保管艇)
- (4) 栈橋貝落とし作業 (1回/年)
- (5) 緑地公園草刈作業 (2回/年)
- (6) 強風時増しもやい作業
- (7) 施設内洗浄作業



(職員による点検)

6 企画事業

(1) 安全講習会の実施

- ・期 日：5月19日、15人参加
- ・対 象：ボートクラブ会員
- ・講 師：伏木海上保安部職員

(2) 安全講習会の実施

- ・期 日：4月7日、60人参加
- ・対 象：中学・高校・大学生
- ・講 師：伏木海上保安部職員



(安全講習会)

(3) 各種ヨットレース等の開催協力

- ・中・高校春季ヨット大会
- ・大型艇ヨットレース
- ・富山県民体育大会
- ・富山県高校総体
- ・万葉レガッタ
- ・輪島レース
- ・ヨット教室



(中・高春季ヨット大会)

(4) マリーナ周辺地区海岸清掃

- ・期 日：7月7日、20人参加
- ・内容等：海老江地区海岸清掃に合わせて、海竜マリンパーク・モーターボートクラブ、県セーリング連盟・各校ヨット部の合同で参加



(5) もちつき大会

- ・12月22日、50名参加
- ・内容等：利用者親睦のため実施



(6) 販売艇・展示事業

販売艇(8艇)を展示し、保管艇の増及びマリーナの振興と活性化を図るため実施



(7) レンタルボート事業

4月1日から10月31日までの間、県外在住者向けのレンタルボート事業を実施
(29年度から実施) 利用実績 71件 (令和元年度利用実績 47件)



(富山新聞記事)

(8) マリンチック街道の認定

平成31年3月から、国土交通省により、プレジャーボート等によるクルージングに、海の駅等に寄港・上陸して近郊の観光地やグルメスポット等を巡るという要素を加えたモデルルートを認定するマリンチック街道として、新湊マリーナを起点・終点とする「富山湾」が認定されている。

IV 県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県営渡船の堀岡発着場における陸上作業員として、乗下船する旅客及び車両の誘導その他県営渡船の運航に係る補助業務を行った。